

終運報第三五八號

發 終 運
受 中 佐
時 間 八 日 一 五 三 〇

昭 和 二 一 一 九
涉 外 謀

琉球へノ送還ノ件

A G 三七〇〇五(一九四六年一月五日) G 〇

G H Q 發 日 本 政 府 宛 覺 書

(終運經由)

一、琉球へノ送還ノ件ニ關スル一九四五年十二月二十六日附本司令部宛覺

書 O、L、O 第一三七一(五、一) 號 案 照

二、現存日本ニ在ル琉球人ニシテ沖繩ヲ除ケ琉球諸島ニ歸郷セント欲スル

者ハ邊滞ナクソノ郷里ニ送還セシメラルヘシ

三、右琉球人ノ歸還ニ對スル方法次ノ如シ

A 日本船舶ノ鹿兒島、宮古島、石垣、奄美大島、徳之島間往復カ計畫
セラレツツアリ

B 鹿兒島ノ港灣監督官ハ宮古島、徳之島、奄美大島、石垣島經由鹿兒

島基隆間往復ノ船舶ヲイレテ鹿兒島ニテ之等ノ島ニ歸郷スル琉球人ヲ乗船セシムル權限ヲ與ヘラレタリ

C 千五百人收容可能ノ米「リバテイ」型船舶一隻ハ浦賀及琉球港海間ヲ往復シアルガ右ハ歸國琉球人ノ送還ニ使用シ得

D S C A J A P (在日聯合國最高司令部)ハ琉球航路ノ日本船舶ノ航行計畫ヲ C M M C ニ提出スヘシ

E 第八軍ハ第八軍司令部ニ駐在スル日本ノ厚生省ノ代表者ニ對シ、浦賀琉球諸島間ヲ往復スル米艘「リバテイ」船ノ航行計畫ヲ第八軍司令部ニ於テ交付ス

四 琉球人ノ送還計畫次ノ如シ

A 奄美大島、鬼界ヶ島一トカエ「列島」ノ者ハ奄美大島へ、
徳之島、余論島、「オキノエラブ」島ノ者ハ徳之島へ、

宮古列島ノ者ハ宮古島へ、
八重山列島ノ者ハ石垣島へ、

B 現在九州ニ在リ宮古、石垣ニ歸ル琉球人ハ(沖縄人ヲ除ク)鹿兒島

ヨリ出發ス

○奄美大島、徳之島ニ歸ル琉球人ハ（現在九州ニ在ル者ヲ除ク）浦賀ヨリ出發ス

○日本帝國政府ハ次ノ如ク措置スヘシ

A 使用シ得ル船舶ヲ適當ニ考屬セル上、上記第三項ノ條項ニ從ヒ琉球人ヲ目的地毎ノ團體ニ區分シテ鹿兒島、浦賀ニ集結セシムヘシ

B 鹿兒島ニ於ル乗船及各團體ノ目的地輸送ニ必要ナル一切ノ雜目ヲ C M M C ト協定スヘシ

C 第八軍司令部ニ派遣セラレアル厚生省代表ヲ通ジ上記第三項ノ條項ニ從ヒ琉球人ノ浦賀ヨリノ歸還ニ附隨スル一切ノ細目ニ就キ第八軍司令部ト協定スヘシ

依 命

高級副官 輔佐官

H · W · A · R · E · N · 大佐